

## 2019（平成31）年度事業計画

はじめに（2019年度事業に向けて）

日本経済は大きく改善しており、GDPは名目、実質ともに過去最大規模に拡大、また企業収益も過去最高を記録する中で、就業者数の増加、賃上げなど雇用・所得環境は大きく改善し、経済の好環境は着実に回りつつあるものとし、国の2019（平成31）年度予算は、「働き方改革」、「ひとづくり革命」、「生産性革命」など、一億総活躍社会の実現と経済の再生に向け強力に推進するものとしています。

また厚生労働省のシルバー人材センター事業補助金では、平成26年度以降の特別会計（雇用勘定枠）による事業費補助金が増額されつつある中で、2019（平成31）年度の補助金交付基準では、会員増加数や就業実績等に応じた配分枠も設けるなど「頑張るセンター」への支援も加えられています。

そうした中、全国のシルバー事業の推進では、第2次「会員100万人達成計画（平成30年）」の策定で、会員拡充を基盤とした一億総活躍・生涯現役社会の実現へ向け役割を担うもので、労働力人口の減少化によるサービス業等の人手不足分野や介護、育児等現役世代を支える分野での就業の推進が喫緊の課題とし、事務局体制の拡充、会員拡大等と企業・事業所とのマッチング機能の強化が必要であるとしています。

一方で、広島県内の高年齢者の雇用状況では、「定年の廃止・引き上げ」あるいは「継続雇用制度の導入」など高年齢者雇用確保措置の進展の中で、過去1年間（平成29年6月～30年5月）の60歳定年企業における定年到達者の内、継続雇用された者は約85%、継続雇用を希望しない定年退職者は約15%とされています。さらに66歳以上・70歳以上で働ける制度のある企業も増加しつつあります。

当センターの2019（平成31）年度事業計画の方針では、会員数の減員化が受注件数、事業費規模に比例するなど全体的に減少傾向にあることから、会員の増強・拡充を最重点とし、入会PRの強化に加え、関係機関等の協力も得るなどの手立てを講じて入会を促進します。また、分野別の就業形態では、引き続いてシルバー人材センターの「適正就業ガイドライン」による請負、委任、派遣、職業紹介別の働き方の違いについて就業の適正化（コンプライアンス）を推進します。

## 1 本年度の基本方針

- (1) 臨時・短期・その他軽易な業務に係る就業機会の提供（公1〔1〕1）

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するため、地域に密着した仕事を高齢者の能力、希望等に応じて請負又は委任による形式で就業機会を提供します。
- (2) 職業紹介事業及び派遣事業による就業機会の提供（公1〔1〕2）

臨時・短期・その他軽易な業務の範囲において、高齢者への職業紹介事業及び労働者派遣事業による就業機会を提供します。
- (3) 就業に必要な知識、技能を付与するための講習（公1〔1〕3）

就業上必要な技能、知識を就業意欲のある高齢者に付与することで、直接就業に結びつけるとともにより広い就業分野の仕事を確保します。
- (4) 事業推進のための諸活動及び社会参加活動の推進（公1〔1〕4）

上記（(1)～(3)）のシルバー事業を推進するための普及啓発ほか、安全・適正就業の推進、調査研究、就業分野の開拓・拡大、相談・情報提供、その他の社会参加活動の推進を行います。
- (5) 基本目標  
本年度は次の数値目標を設定します。
  - ① 会員目標 会員総数 701人（第2次100万人達成計画による）
  - ② 事業収益 3億4,380万円（請負・委任）
  - ③ 派遣事業  
ア 派遣就業延人員9,200人日  
イ 派遣契約 4,970万円

## 2 事業の実施計画

- (1) 臨時・短期・その他軽易な業務に係る就業機会の提供（公1〔1〕1）
  - ① 請負・委任  
請負・委任の業務全般については、発注者から求められる仕事の内容を可能な限り会員等に情報提供し、会員等の能力、希望に応じて公平な就業機会の提供とワーキングシェア（仕事を分け合う）を推進します。  
ア 福祉・家事援助分野においては、高齢者・介護・育児など高齢者家庭や現役世代の支援を行います。  
イ 施設管理部門の廿日市市自転車駐車場は、契約期間5か年中第3年次の管理運営を行うほか、市民センター、学校等公共施設の受付業務等の管理業務を継続します。  
ウ 廿日市市の空き家対策では、平成30年に空家等対策事業者登録を完了したことから空き家の所有者等への受注拡大に取り組みます。

② 独自事業の継続

ア 子育て支援事業では、認可外託児所「なかよしルーム」の運営を継続します。

イ 資源のリサイクル事業では、家庭の廃食用油の回収、資源の再利用に努めます。

ウ 大型ごみの回収など「ワンコインサービス」を継続します。

エ 害虫駆除では、増えつつある「スズメバチの巣の駆除」のほか、「アルゼンチンアリの防除」を行います。

(2) 職業紹介事業及び派遣事業による就業機会の提供（公1〔1〕2）

高齢者の職業紹介事業については有料職業紹介制度を活用します。また、派遣事業については就業開拓と就業延人員の増員に取り組みます。

① 有料職業紹介事業

60歳以上の高齢者に職業を紹介するに当たっては、この制度の活用を行います。

② 労働者派遣事業の推進

高齢者活用・現役世代雇用サポート事業補助を活用し、サービス業等の人手不足分野や介護・育児等現役世代を支える分野で、積極的な就業開拓に努め、派遣契約高4,970万円、就業延人員9,200人を目標とします。

(3) 就業に必要な知識、技能を付与するための講習（公1〔1〕3）

各種の就業分野において必要とされる技術・技能等、仕事におけるノウハウを習得するため、職群別の講習会を実施します。

① 各種講習会の実施

植木の剪定講習、除草講習、害虫駆除講習、障子・襖の張替え技能講習など就業に必要な講習会の開催ほか、県内及び広域圏で実施される家事援助、子育て支援講習会への参加を推進することで就業会員の知識・能力の向上を図ります。また、女性会員の増強のため、女性の入会を促進する講座、講習会の企画等の展開に取り組みます。

② 高齢者活躍人材確保育成事業、高齢者スキルアップ・就職促進事業の連携と推進

広島県SC連合会との連携により、介護・保育分野、人材不足分野などにおいて就業に必要な知識やノウハウを習得するための各種の技能講習を実施するほか、働く意欲を持つ高齢者が経験のない分野等で円滑に再就職できるよう、必要な能力を習得するための技能講習等の実施などを推進します。

(4) 事業推進のための諸活動及び社会参加活動の推進 (公1 [1] 4)

シルバー事業の広報普及に努めるとともに、会員の増加と就業分野の開拓・拡大を図り、仕事の提供を通じた地域社会の活力増進と奉仕(ボランティア)活動への参加で、地域の一員としての社会参加を推進します。また、RCCラジオスポット放送による事業活動等のPRは、広島県シルバー人材センター連合会と連携し継続します。

① 普及啓発

地域住民の信頼と理解を得るため、シルバーの事業活動を普及するとともに会員意識の啓発をもってセンターの拡大・発展に努めます。

- ア ホームページ掲載、ポスター掲示、パンフレット・チラシの配布
- イ 市広報(行政機関)への掲載、市及び関係団体が開催する各種のイベント・行事への参画、参加
- ウ マスメディア(新聞、テレビ、ラジオ等)への活動情報等の提供
  - ・RCCラジオスポットCMの実施、コミュニティ新聞等への掲載
- エ 専門部会及び就業開拓員による企業等・一般家庭への普及推進
- オ 地域班による「会員、一人ひとりの広告・宣伝塔」の意識促進
- カ ボランティア活動(海のクリーンアップ、シルバーの日等)への参加促進

② 安全、適正就業の推進

ア 安全就業

安全就業を最優先とし、事故の未然防止、発生事故の検証と対策、会員への事故防止関連情報の提供など事故の撲滅に取り組みます。

- ・安全・適正就業委員会による安全及び適正就業推進会議の強化
- ・職群班の安全就業に関する研修・会議等の推進
- ・安全パトロールの実施(就業箇所の安全確認、指導等)
- ・安全意識高揚のための研修会・講習会等の実施
- ・事故発生の現状や防止策など情報の提供
- ・センター車輛の運転者を対象とした安全運転講習等の実施
- ・人手不足分野の自動車運転業務(派遣)では、「高齢運転者等に係るガイドライン」の周知徹底で、交通事故防止と安全運転向上を図ります。

イ 適正就業

シルバー人材センターの「適正就業ガイドライン」による適正な就業の確保のため、いわゆる偽装請負の是正や法で制限(禁止業務)される就業の停止などコンプライアンスへの取り組みを強化します。

③ 調査研究事業

女性会員活動の活性化を図るため、会員拡充・就業拡大など先進事例等を研究するとともに、女性の趣味や特技が活かされる事業創出に取り組みます。

④ 就業分野の開拓等

企業・事業所・店舗等への訪問活動によりシルバー事業の普及と請負、委任による新たな仕事の掘り起しを図るとともに、引き続きサービス業等の人手不足分野、介護、保育等分野における派遣事業の開拓、推進に努めます。

⑤ 地域就業機会創出・拡大事業への取り組み

市や商工団体等の関係機関と連携して地域の活性化や経済の維持・発展につながる新規の就業機会の創造のため、廿日市市ほか関係機関等との情報収集・意見交換に努めます。

⑥ 入会相談、情報提供の拡充

会員の増強がセンター事業活性化の基盤となります。第2次「会員100万人達成計画」のロードマップによる会員増を目指し、つぎの取り組みを行います。

ア 平成31年度末の会員総数701人以上を目標とします。

イ アのうち、女性会員では、190人、構成比率27%を目指します。

ウ 年間28回以上（支所含む）の入会説明会及び出張説明会の実施

エ 入会説明会では、仕事情報の一部開示など工夫と促進を図ります。

オ 入会相談への随時対応とハローワークにおける相談会の実施

カ 会員による友人・知人等への入会勧誘の推進（1人1会員入会）

キ 「会員募集」PR等（各種団体等への情報提供を含む）の発信強化

ク 退会防止策の検討と退会防止の推進（例：ゴールド会員制度の活用）

ケ 会員組織（地域班、職群班）活動活性化のための情報提供

コ 地域班、職群班の班長会議による情報共有の推進

⑦ 社会参加活動の推進

地域社会の一員として、奉仕（ボランティア）活動への参加を促進するとともに、行政や福祉・社会活動団体等が開催する各種の行事やイベントへの積極的な参画、参加により、地域との一体感の醸成を図ります。

ア ボランティア活動（シルバーの日の活動を含む）

- ・ JR 駅周辺、公園清掃などシルバーの日の奉仕活動
- ・ 海岸清掃（海のクリーンアップ）活動の参加促進
- ・ 老人・障がい福祉施設等への慰問活動
- ・ 小学校登下校時の見守り活動

イ 各種イベント・行事への参加

- ・行政関係機関等が開催するさくら祭りほか各種イベント等への参加

⑧ センターの組織強化の推進

シルバー事業の基本理念の下に、役員等が構成する専門部会等組織の横断的な取り組みと会員組織の地域班、職群班との連携強化に取り組みます。

ア 役員等組織、会員組織の連携強化

- ・専門部会の総務・普及啓発・広報福利厚生・女性部会相互の組織横断的活動の推進
- ・P D C Aサイクルによる事業の進捗管理と運営
- ・先進事例の研究による事業開拓等
- ・地域班、職群班の主体的活動の促進と班長会議における情報共有・意見交換の推進

イ 事務局機能の強化

- ・派遣事業拡大に伴う衛生管理者、衛生委員会の設置
- ・企業・事業所とのマッチング機能の強化
- ・職員の資質能力向上のための研修・教育等の強化